

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 06279305
PUBLICATION DATE : 04-10-94

APPLICATION DATE : 25-03-93
APPLICATION NUMBER : 05105881

APPLICANT : KUGA MASAACKI;

INVENTOR : KUGA MASAACKI;

INT.CL. : A61K 35/78 A61K 35/78 A61K 35/78 A61K 35/78 A61K 9/06 //(A61K 35/78 , A61K 35:36)

TITLE : AGENT FOR TREATMENT OF DERMATIC DISEASE SUCH AS ATOPIC DERMATITIS

ABSTRACT : PURPOSE: To provide an agent having remarkably excellent effect for the treatment of various intractable skin diseases such as atopic dermatitis and having little side effect.

CONSTITUTION: An agent for the treatment of various skin diseases is produced by properly combining crude drugs such as OUGI (root of Astragalus huantchy), TOUKI (root of Angelica acutiloba), KEIHI (bark of Cinnamomum cassia), SHAKUYAKU (root of Paeonia albiflora), JIOU (root of Rehmannia glutinosa), OUREN (rhizome of Coptis japonica), OUGON (root of Scutellaria baicalensis), OUBAKU (bark of Phellodendron amurense), SANSISHI (fruit of Gardenia jasminoides), BOUFU (root of Ladebourniella seseloides), KEIGAI (flower of Schizonepeta tenuifolia), SOUJUTSU (rhizome of Atractylodes lancea), DAIYOU (rhizome of Pheum palmatum), SAIKO (root of Bupleurum falcatum), OUHI (bark of Prunus yedoensis) and KUJIN (root of Sophora angustifolia), decocting the herbs with a vegetable oil such as olive oil, removing the solid component from the extract by filtration or other means, adding horse oil and beeswax to the obtained extract, dissolving the mixture and cooling the solution under stirring to obtain the objective ointment.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO

(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-279305

(43)公開日 平成6年(1994)10月4日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 1 K 35/78	ADA W	7822-4C		
	ABF W	7822-4C		
	ABM W	7822-4C		
	ACK W	7822-4C		
9/06	G	7329-4C		

審査請求 未請求 請求項の数 8 書面 (全 6 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願平5-105881

(22)出願日 平成5年(1993)3月25日

(71)出願人 592151890

久我 高昭

愛媛県新居浜市坂井町3丁目14番52号

(71)出願人 593077490

久我 正明

愛媛県北条市辻826番地5号

(72)発明者 久我 正明

愛媛県北条市辻826番地5号

(54)【発明の名称】 アトピー性皮膚炎等の皮膚疾患治療薬

(57)【要約】

【目的】 治療が困難なアトピー性皮膚炎等の各種皮膚疾患に対して副作用がほとんどなくかつ、治療効果のきわめて大きい治療薬を得ることである。

【構成】 オウギ、トウキ、ケイヒ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ボウフウ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、オウヒ、クジン等の生薬を適宜組合わせて、これらをオリブ油等の植物油で煮出して得られた抽出液を濾過、その他により固形物を除去してエキスを得る。これに馬の油と蜜蝋を入れて溶解、攪拌しながら冷やして膏剤としたものを主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【特許請求の範囲】

【請求項1】 オウギ、トウキ、ケイヒ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ボウフウ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウの生薬を適宜組合わせて、これらをオリーブ油等の植物油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とすることを特徴とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【請求項2】 オウギ、トウキ、ケイヒ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ボウフウ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコの生薬を適宜組合わせて、これらをオリーブ油等の植物油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とすることを特徴とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【請求項3】 オウギ、トウキ、ケイヒ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ボウフウ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、オウヒの生薬を適宜組合わせて、これらをオリーブ油等の植物油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とすることを特徴とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【請求項4】 オウギ、トウキ、ケイヒ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ボウフウ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、オウヒ、クジンの生薬を適宜組合わせて、これらをオリーブ油等の植物油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とすることを特徴とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【請求項5】 オウギ、トウキ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコの生薬を適宜組合わせて、これらをオリーブ油等の植物油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とすることを特徴とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【請求項6】 オウギ、トウキ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、クジンの生薬を適宜組合わせて、これらをオリーブ油等の植物油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とすることを特徴とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【請求項7】 オウギ、トウキ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、クジン、オウヒの生薬を適宜組合わせて、これらをオリーブ油等の植物油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とすることを特徴とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【請求項8】 オウギ、トウキ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、オウヒの生薬を適宜組合

わせて、これらをオリーブ油等の植物油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とすることを特徴とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】 この発明はアトピー性皮膚炎、口内炎、外耳道炎、蓄膿症、火傷、鼻炎による嗅覚低下症、舌痛症、しもやけ、その他の皮膚疾患治療薬として利用される。

【0002】

【従来の技術】 従来は、実用新案登録願平成5年2月8日提出の同一人出願による皮膚疾患治療薬ならびに特許願平成5年3月2日提出の同一人出願によるアトピー性皮膚炎等皮膚疾患治療薬がある。しかしながら、それらの治療薬は一部のアトピー性皮膚炎等に対して、発汗その他の原因で十分な治療効果が出ない場合がある。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】 このため従来のアトピー性皮膚炎等皮膚疾患治療薬の欠点を解決するために、発汗とかゆみと副作用がほとんどなく、かつ治療効果のきわめて大きい治療薬を得ることが課題である。

【0004】

【課題を解決するための手段】 オウギ、トウキ、ケイヒ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ボウフウ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、オウヒ、クジン等の生薬を適宜組合わせて、これらをオリーブ油等の植物油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0005】

【作用】 本発明の治療薬を局所に軽く塗布するか、ガーゼや紙などに伸ばして貼布することによりアトピー性皮膚炎に作用して発汗、かゆみ、副作用がほとんどなく、かつ効果が大きい治療ができる。そして皮膚を正常な皮膚に回復させることはもちろん、変色していた皮膚の色を正常な色に戻すこともできる。またその治療中に疾患部の発汗並びにかゆみもおさえることができるので、より一層有効な治療効果が得られる。口内炎、外耳道炎、蓄膿症、火傷、鼻炎による嗅覚低下症、しもやけ、舌痛症、その他の皮膚疾患に対しても、きわめて有効な治療効果が得られる。

【0006】

【実施例1】 オウギ、トウキ、ケイヒ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ボウフウ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウの生薬を適宜組合わせて、これらをオリーブ油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。上記の生薬は適当な割合で用いることができるがオウギ10、トウキ20、ケイヒ3、シャクヤク10、ジオウ20、オウレン5、オウゴン1

0、オウバク3、サンシシ5、ポウフウ10、ケイガイ5、ソウジュツ10、ダイオウ10の割合で用いるのが好ましい。

【0007】

【実施例2】オウギ、トウキ、ケイヒ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ポウフウ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウの生薬を適宜組合わせて、これらを胡麻油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。上記の生薬は適当な割合で用いることができるがオウギ10、トウキ20、ケイヒ3、シャクヤク10、ジオウ20、オウレン5、オウゴン10、オウバク3、サンシシ5、ポウフウ10、ケイガイ5、ソウジュツ10、ダイオウ10の割合で用いるのが好ましい。

【0008】

【実施例3】オウギ、トウキ、ケイヒ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ポウフウ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウの生薬適宜を組合わせて、これらを植物油で煮出して得たエキスと動物油を組み合わせたものを有効主成分とすることを特徴とする各種皮膚疾患に対する治療薬。上記の生薬は適当な割合で用いることができるがオウギ10、トウキ20、ケイヒ3、シャクヤク10、ジオウ20、オウレン5、オウゴン10、オウバク3、サンシシ5、ポウフウ10、ケイガイ5、ソウジュツ10、ダイオウ10の割合で用いるのが好ましい。

【0009】

【実施例4】オウギ、トウキ、ケイヒ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ポウフウ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウの生薬を適宜組合わせて、これらを馬の油等の動物油で煮出して得たエキスを有効主成分とすることを特徴とする各種皮膚疾患に対する治療薬。上記の生薬は適当な割合で用いることができるがオウギ10、トウキ20、ケイヒ3、シャクヤク10、ジオウ20、オウレン5、オウゴン10、オウバク3、サンシシ5、ポウフウ10、ケイガイ5、ソウジュツ10、ダイオウ10の割合で用いるのが好ましい。

【0010】

【実施例5】オウギ、トウキ、ケイヒ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ポウフウ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウの生薬適宜を組合わせて、これらをオリーブ油等の植物油で煮出して得られた抽出液を濾過、その他により固形物を除去してエキスを得る。これに馬の油と蜜蝋を入れて溶解、攪拌しながら冷やして膏剤としたものを主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。上記の生薬は適当な割合で用いることができるがオウギ10、トウキ20、ケイヒ3、シャクヤク10、ジオウ20、オウレン5、オウゴン1

0、オウバク3、サンシシ5、ポウフウ10、ケイガイ5、ソウジュツ10、ダイオウ10の割合で用いるのが好ましい。

【0011】

【実施例6】オウギ、トウキ、ケイヒ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ポウフウ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコの生薬を適宜組合わせて、これらをオリーブ油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0012】

【実施例7】オウギ、トウキ、ケイヒ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ポウフウ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコの生薬を適宜組合わせて、これらを胡麻油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0013】

【実施例8】オウギ、トウキ、ケイヒ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ポウフウ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコの生薬を適宜組合わせて、これらを植物油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0014】

【実施例9】オウギ、トウキ、ケイヒ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ポウフウ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコの生薬を適宜組合わせて、これらを馬の油等の動物油で煮出して得たエキスを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0015】

【実施例10】オウギ、トウキ、ケイヒ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ポウフウ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコの生薬を適宜組合わせて、これらをオリーブ油等の植物油で煮出して得られた抽出液を濾過、その他により固形物を除去してエキスを得る。これに馬の油と蜜蝋を入れて溶解、攪拌しながら冷やして膏剤としたものを主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0016】

【実施例11】オウギ、トウキ、ケイヒ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ポウフウ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、オウヒの生薬を適宜組合わせて、これらをオリーブ油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0017】

【実施例12】オウギ、トウキ、ケイヒ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ポ

ウフウ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、オウヒの生薬を適宜組合わせて、これらを胡麻油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0018】

【実施例13】オウギ、トウキ、ケイヒ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ボウフウ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、オウヒの生薬を適宜組合わせて、これらを植物油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0019】

【実施例14】オウギ、トウキ、ケイヒ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ボウフウ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、オウヒの生薬を適宜組合わせて、これらを馬の油等の動物油で煮出して得たエキスを組み合わせたものを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0020】

【実施例15】オウギ、トウキ、ケイヒ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ボウフウ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、オウヒの生薬を適宜組合わせて、これらをオリーブ油等の植物油で煮出して得られた抽出液を濾過、その他により固形物を除去してエキスを得る。これに馬の油と蜜蝋を入れて溶解、攪拌しながら冷やして膏剤としたものを主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0021】

【実施例16】オウギ、トウキ、ケイヒ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ボウフウ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、オウヒ、クジンの生薬を適宜組合わせて、これらをオリーブ油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0022】

【実施例17】オウギ、トウキ、ケイヒ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ボウフウ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、オウヒ、クジンの生薬を適宜組合わせて、これらを胡麻油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0023】

【実施例18】オウギ、トウキ、ケイヒ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ボウフウ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、オウヒ、クジンの生薬を適宜組合わせて、これらを植物油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0024】

【実施例19】オウギ、トウキ、ケイヒ、シャクヤク、

ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ボウフウ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、オウヒ、クジンの生薬を適宜組合わせ、そしてこれらを馬の油等の動物油で煮出して得たエキスを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0025】

【実施例20】オウギ、トウキ、ケイヒ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ボウフウ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、オウヒ、クジンの生薬を適宜組合わせ、これらをオリーブ油等の植物油で煮出して得られた抽出液を濾過、その他により固形物を除去してエキスを得る。これに馬の油と蜜蝋を入れて溶解、攪拌しながら冷やして膏剤としたものを主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0026】

【実施例21】オウギ、トウキ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコの生薬を適宜組合わせて、これらをオリーブ油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0027】

【実施例22】オウギ、トウキ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコの生薬を適宜組合わせて、これらを胡麻油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0028】

【実施例23】オウギ、トウキ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコの生薬を適宜組合わせて、これらを植物油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0029】

【実施例24】オウギ、トウキ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコの生薬を適宜組合わせて、これらを馬の油等の動物油で煮出して得たエキスを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0030】

【実施例25】オウギ、トウキ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコの生薬を適宜組合わせて、これらをオリーブ油等の植物油で煮出して得られた抽出液を濾過、その他により固形物を除去してエキスを得る。これに馬の油と蜜蝋を入れて溶解、攪拌しながら冷やして膏剤としたものを主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0031】

【実施例26】オウギ、トウキ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、クジンの生薬を適宜組合わせて、これらをオリーブ油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0032】

【実施例27】オウギ、トウキ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、クジンの生薬を適宜組合わせて、これらを胡麻油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0033】

【実施例28】オウギ、トウキ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、クジンの生薬を適宜組合わせて、これらを植物油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0034】

【実施例29】オウギ、トウキ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、クジンの生薬を適宜組合わせて、これらを馬の油等の動物油で煮出して得たエキスを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0035】

【実施例30】オウギ、トウキ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、クジンの生薬を適宜組合わせて、これらをオリーブ油等の植物油で煮出して得られた抽出液を濾過、その他により固形物を除去してエキスを得る。これに馬の油と蜜蝋を入れて溶解、攪拌しながら冷やして膏剤としたものを主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0036】

【実施例31】オウギ、トウキ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、クジン、オウヒの生薬を適宜組合わせて、これらをオリーブ油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0037】

【実施例32】オウギ、トウキ、シャクヤク、ジオウ、オウレン・オウゴン、オウバク、サンシシ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、クジン、オウヒの生薬を適宜組合わせて、これらを胡麻油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0038】

【実施例33】オウギ、トウキ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、クジン、オウヒの生薬を適宜組合わせて、これらを植物油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0039】

【実施例34】オウギ、トウキ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、クジン、オウヒの生薬を適宜組合わせて、これらを馬の油等の動物油で煮出して得たエキスを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0040】

【実施例35】オウギ、トウキ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、クジン、オウヒの生薬を適宜組合わせて、これらをオリーブ油等の植物油で煮出して得られた抽出液を濾過、その他により固形物を除去してエキスを得る。これに馬の油と蜜蝋を入れて溶解、攪拌しながら冷やして膏剤としたものを主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0041】

【実施例36】オウギ、トウキ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、オウヒの生薬を適宜組合わせて、これらをオリーブ油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0042】

【実施例37】オウギ、トウキ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、オウヒの生薬を適宜組合わせて、これらを胡麻油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0043】

【実施例38】オウギ、トウキ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、オウヒの生薬を適宜組合わせて、これらを植物油で煮出して得たエキスと馬の油を組み合わせたものを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0044】

【実施例39】オウギ、トウキ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、オウヒの生薬を適宜組合わせて、これらを馬の油等の動物油で煮出して得たエキスを有効主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0045】

【実施例40】オウギ、トウキ、シャクヤク、ジオウ、オウレン、オウゴン、オウバク、サンシシ、ケイガイ、ソウジュツ、ダイオウ、サイコ、オウヒの生薬を適宜組合わせて、これらをオリーブ油等の植物油で煮出して得られた抽出液を濾過、その他により固形物を除去してエキスを得る。これに馬の油と蜜蝋を入れて溶解、攪拌しながら冷やして膏剤としたものを主成分とする各種皮膚疾患に対する治療薬。

【0046】

【発明の効果】治療が困難なアトピー性皮膚炎に対して、これらの薬を用いることによりほとんど副作用がなくなると共に、かつその患部のかゆみ並びに発汗も抑えられるため従来より、きわめて有効な治療ができる。そして皮膚を正常な皮膚に戻すと共に、変色した皮膚を正常な色の皮膚に戻すことができる。またこれらの薬を用いることにより口内炎、外耳道炎、蓄膿症、火傷、鼻炎、鼻炎、しもやけ、その他各種皮膚疾患にも副作用がなく、かつきわめて有効な治療ができると共に、舌痛症に対してもこれらの薬は大変有効である。

フロントページの続き

(51) Int. Cl. 5

A 6 1 K 9/06

//(A 6 1 K 35/78

35:36)

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

V 7329-4C

7431-4C